

# 「観」住まい



ひとつになる。

7月5日。唐津市相知町にある中山邸。これから住まいをつくらうという人を招いて、住宅見学会が行われた。発案者は中山邸を施工した夢木香・松尾社長。少し遅れて参加させていただいた。

玄関脇にある定礎には家族全員の手形。玄関の飾り窓にはカチガラスのステンドグラス。家族全員の遊び心が結晶化している家だなど直観した。

上に上がらせていただいた。台所、食堂、居間、客間が違和感なく一体化している空間。木づくりのダイニングテーブルと椅子以外には余計な家具はない。棚、収納スペースはすべて造付け。空間の中央には8寸角の大黒柱。梁組は全面現し。無駄のないスッキリした空間全体に、とても気持ちのいい空気が流れている。

20人程の見学者達は、思い思いに、この空間のつくりを堪能している。中山夫妻もうちとけた様子で、初対面の人達とおしゃべりを楽しんでいる。ワザとらしさがどこにもない。中山さんと挨拶を交わしてから、2階へ。南面の木造のバルコニー。軒が深い。自然の光と風を存分に楽しめるつくり。片流れの屋根の最上部には畳敷きのロフト。遊びをせんとやの子供達にとっては、絶好の遊び場だ。連れて行った5才の息子も大よこびだった。

見学者が三三五五、階下に降りて来た。家づくりのプロセスを心から楽しみ、今は住まうことを心から楽しんでいらつしやる中山さんに、家づくりの経緯を、と松尾さん。

中山さんの話(要旨)

家をつくらうと思った中山さんは、福岡・百道にある住宅展示場で、住宅メーカーの社員の説明を聞き、これでいい、とほぼ心を決めた。

ところが、2回目にその展示場に行った時、件の社員氏は接客中。聞くともなしに聞いていたら、自分に話していた内容と一言、一句ちがわない同じ話を、その客にしていた。本当にこの人に頼んで大丈夫だろうか? と疑問を抱いてしまった。

書店でたまたま手にした本で、設計事務所相談してみよう。これはと思った設計者を数名訪ね、もう一度会いたいと思った土公さんに依頼しようと決意。木を切り出すところから始めたという中山さん。じゃ、鹿島の山の木を切らせてもらおう、と松尾さんを紹介された。松尾さんとは、それ以来のおつき合い。

「基本設計に半年、実施設計に3ヶ月、見積り入札して工務店との契約までに2ヶ月、施工に7ヶ月。1年半からの時間をかけたんですが、家を建てるプロセスすべてが新鮮な経験で、とても楽しかったですね。素人考えで、ここはこうしたい、ああしたいと言っても、普通はそれできません、で終わってしまうんですが、土公さ

んや松尾さんは懐が深く、それはできないけど、かわりにこういう方法がある、ああいう方法がある、というのを引き出しを開けていた。設計段階では週2回は打合せ。延べにしたら100回以上かな(笑)。時には言い合いに近い激しいやりとりもありましたが、それもお互いの信頼関係あってのことだと思えます。施工にかかってからも、土、日は殆んど現場に足を運んで、半日はいましたね(笑)。

ドアノブやタイルの柄はすべて夫婦で選びました。途中で玄関に窓をつくれないうか、どうせつくるならステンドグラスで、と土公さんの知り合いを紹介してもらったり、手洗鉢は唐津焼で、折角だから子供達の絵付けで、と、どんだんいろいろあなたのお付き合いも増えていきました。こうしたプロセスすべてを楽しめる方には、私のやった家づくりをおすすめしますが、面倒臭がりの方には、私のやった家づくりのような信頼できる方に、全てお任せという方法もあると思います。実際、私の兄弟夫婦はそのやり方でした。」

見学者からの質問にも、とてもいねいに答える中山さん。住んで4年経って何か気になることは? の質問には、「アメリカも納得づくで、隅々までわかってますから、想定外のことには全く無いですね」と明快。家づくりに想いを尽くした証だろう。

松尾さんが締めくくった。「住まいづくりは、つくづく、ご縁づくりだと思えます。新しいご縁を結んでもらって、その一つのご縁を元にパイプを太くしてもらって、いいものを残していく、いい暮らし方をしたい。今日だけでなく、住まいづくりで何かあったら、中山さん、こういう時にはどうしたらいいでしょうか? と、気軽に聞いていただければ、と思います。私がいたら聞けんことも、遠慮なく聞いてもらって(笑)。

中山さんも楽しんでいらしたけど、私もこのお住まいづくりはとても楽しかった。土公さんもそうおっしゃってました。今日は本当にありがとうございました。」

何とも清々しい「お住まい拝見」だった。施工時においては、施主、設計士、施工会社の3者が、見事にひとつになっており、見学会では、招待する側と招待される側が、見事にひとつになっている。それは中山さんが、まるで子供のようになり、いつも「いまここ」に生きているからこそできること。前回の井手家同様、中山家の空間に流れている気分のいい空気も、正に中山家の人々そのものであると観じた。

シックハウス化学物質過敏症シックスクール講演会  
現在、7人に1人は化学物質過敏症、  
子どもの3人に1人はシックハウス症候群と言われています。  
「まわりの“シグナル”に気づいていますか?」  
講師 NPOシグナルキャッチ 代表 鹿兒島ひとみ氏  
日時 9月6日(日)13:30~16:00(相談会あり)  
場所 長崎街道八戸の家 井手邸  
参加いただいた方に「しくなる」  
シグナルキャッチ発行 プレゼント



化学物質過敏症の実態  
新築に住めない人がいる  
更年期障害、パニック障害、アレルギー  
うつ、不登校、実は化学物質過敏症だった  
NPOシグナルキャッチ  
HPアドレス <http://cssaga.nomaki.jp/>  
佐賀市で活動 化学物質による疾患の社会啓発活動、  
行政に対する提言、  
市民への講演会、勉強会開催

施工 夢木香  
有限会社 夢木香  
0120-835-832  
<http://www.e-house.co.jp/yumekiko/>  
e-mail: yumekikou@globe.ocn.ne.jp  
TEL 0954-69-8333 / FAX 0954-69-8334  
佐賀県鹿島市大字三河内甲 2487  
日本民家再生協会正会員

設計 土公建築・環境設計室  
<http://dokoed.web.fc2.com/>  
e-mail: dokoj@tkg.bbq.jp  
TEL / FAX 092-511-2064  
〒815-0032 福岡県南区塩原 4丁目 6-21-205  
日本民家再生協会正会員